

協働取組ガイドライン（仮称）の原案について

発言者	発言内容
事務局	（資料1、資料2に基づき「協働取組ガイドライン（仮称）」に関するスケジュール、原案について説明があった。）
千頭会長	では、事業者・NPO等向けの冊子を御覧いただき、気になる点等あれば御意見いただきたい。
大鹿委員	次期学習指導要領という標記について、この冊子が本格的に使われ始めるのは4月以降だと思われるため、「次期」ではなく発表された年を入れるなど工夫していただきたい。
事務局	豊田市の環境学習プログラムカレンダーの掲載方法について、どのように表現すれば見やすくなるのかについて御意見をいただきたい。
大鹿委員	<p>プログラムカレンダーについては、学校側としては細かい方が見やすいが、NPO等が読む場合はもっと簡単にしてもよいと思う。</p> <p>この事例は完成形すぎて、NPO等が作成するに当たりハードルになってしまうのではないか。</p>
新海委員	<p>プログラムカレンダーについてだが、NPOや事業者などには、学校にはこのような年間スケジュールがあり、どの部分でNPO等のプログラムが実施され、活用されているか、全体の学習工程から把握することができる。</p> <p>表紙の副題に「活動の拡大・深化」とあるが、学校と連携・協働することによる事業者等の活動の拡大・深化を目的とするのか。</p> <p>事業者・NPO側と学校がどのようにマッチングしたかをもっと分かりやすくした方がよい。コーディネーターを活用してほしいということであれば、その効果をもっと分かりやすいとよい。</p> <p>事業者・NPO等向けの強みを見出すためのワークシートについては、Webや教科書を見るだけでは記入が難しいため、プラザやコーディネーターに相談するなど、使い方の工夫を加えた方がよい。</p>
千頭会長	<p>事例の流れの図で、事業者と学校の間にはコーディネーターを入れるなどすると分かりやすくなるかもしれない。</p> <p>ワークシートは、事業活動の中でも、例えば社員に対する環境教育などに限定して書くようにすると、何を書いたらよいのか分かりやすくな</p>

<p>橋本委員代理 内藤課長</p>	<p>るのではないか。</p> <p>多くの企業が環境方針を持っているため、それに沿ったときに何が提供できるかを考えてもらうようなことにつながるワークシートである とよい。そうすれば、製品のPRというより企業が環境としてなにがしたいかが表れてくると思う。</p> <p>EPOCなどの言葉については、注釈などを入れる必要がある。</p>
<p>島田委員</p>	<p>プログラムカレンダーについては、市町村から見ると細かすぎると 思う。このような物を作ろうとすると難しいと感じてしまう。</p>
<p>浜口委員</p>	<p>プログラムカレンダーについて、細かくてもよいが、季節や、学期ご との区分でもいいのではないか。自然系の活動だと、季節が関係するた めNPOにとっての見やすさとしては季節ごとも一つの案となる。</p> <p>学校との打ち合わせ用のワークシートは、これを書くことでそれがす ぐに利用できると思ってしまうという危険がある。これは、学校などの 要望を聞きながら作成していくものだと思う。事前の打合せが重要であ り、それを事例の中でもわかりやすく表現するとよい。</p>
<p>篠田委員</p>	<p>私の団体では、年に1回、各学校にプログラム一覧とガイドブックを 配付しており、学校から「何年生で、何人で、どのようなことがやりた い」と依頼がくる。その後、こちらから目的や時期に合わせたプログラ ムを提案し、実施が決まると必ず下見に来ていただき、顔を合わせて打 合せをする。</p> <p>そのため、ガイドラインにおいても、一度は顔を合わせて打合せをし 一緒に作り上げていくことを提案してもらいたい。</p> <p>また、協働して行うに当たっての流れが一目でわかるようなことがあ るとよい。</p>
<p>松岡委員</p>	<p>打合せ用のワークシートについては、打合せ時に落としてはいけない 観点であると思う。</p>
<p>新海委員</p>	<p>事業者・NPO向けの導入部分に、事業者やNPOが学校と連携する 際の課題や、その課題を各事例においてどのように解決したか、またそ のプロセスなどが見えるようにした方がよい。</p>

平井委員	<p>連携・協働の流れが分かるページが最も重要だと思う。事業者やNPOは学校とのマッチングの仕方がわからないため、実現するまでの流れが初めに簡単に図でまとめられているとよい。</p> <p>情報発信の説明には、具体的にどこにどのように登録すればよいのかがはっきり書いてあるとよい。</p>
千頭会長	<p>コーディネーターだけでなく、様々なマッチングの場や機会があることも伝えられるとよい。</p> <p>学校向けも含めて御意見をいただきたい。</p>
松岡委員	<p>学校が連携したいと思ったときに、どこに相談したりアクセスしたりしたらよいか分かるとうい。例えば、コーディネーターに相談することを初めに書いたり、連携先の情報が集まった Web サイトなどがあつたりするとよい。</p> <p>学校向け専門家に関する情報の整理については、テーマごとよりも「EPOC環境教育講座」などの情報のまとまりごとに記載した方が分かりやすい。</p>
浜口委員	<p>学校向けの専門家に関する情報は、専門家に来てほしいという観点からすると、何の専門家に来てほしいかを考えてから探す場合には、テーマごとや教科ごとに分類した方が分かりやすいのではないかな。</p> <p>また、事業者向けに比べて学校向けの導入ページが難しい言葉が多く、先生が読み進めてくれるかが疑問である。</p>
大鹿委員	<p>学校向けの導入ページには、次期学習指導要領のキーワードとなる語句が入れられている。環境教育だけでは興味を示さない教員にも読んでもらうきっかけになるため外せないが、イラストとキーワードにして見やすくするなどには必要。</p>
渡辺委員	<p>学校向けの導入については、専門用語が多く学校側にとっては分かりやすい。</p> <p>学校は、連携先を探すときにはインターネットなどで検索し比較して選ぶ。そのようなときに困ったらどこに連絡すればよいかを記載していただけると、学校の先生は助かると思う。</p>
新海委員	<p>次期学習指導要領のキーワードについては、より分かりやすく書く必</p>

	<p>要がある。</p> <p>「協働授業づくり」の概念についてだが、新学習指導要領のキーワードを具体的に示すものであることを記載した方がよい。そして、協働授業づくりという言葉の概念や意味を明確にしておいた方がよい。</p> <p>また、事例の中で、どのように協働授業づくりを実現したかをもっと分かりやすく見えるようにした方がよい。</p>
篠田委員	<p>企業としては環境にやさしい取り組みを実施しているが、それを学校に取り入れるときに、学校には学習指導要領がありこれを教えてほしいということがあることを事業者側が勉強し、学校側が求めるものを提供しなければならないということを事業者向けのハンドブックに記載していただきたい。</p>
千頭会長	<p>事業者や NPO にとってのメリットについて、「子どもたちが変わる姿を見ることが楽しい」などを入れるとよいのではないかと。</p>
平井委員	<p>事業者向けのワークシートのねらいは、事業者が行っていることを整理することでどのようなことで貢献できるかが見えてくることだと思うが、そのような内容になっていないように感じるため、ねらいに合うように変えた方がよい。</p>
千頭会長	<p>みなさんの意見をまとめると、入り口をどのようにしたらよいか、最初の一步をもっと分かりやすく出した方がよいということだと思う。</p>
新海委員	<p>この冊子は、学校側にとっては次期指導要領に変わり、授業づくりに困っている教員が参考にするためのものである。事業者等にとっては、知識やノウハウはあるが、地域に提供するための情報提供の場やマッチングの仕組みが既にあり、すでに実施されている事例もあることを示し、いかにそういった場や仕組みに参加するかを伝えるためのもの、だと認識している。</p>
猪子委員代理 高山主幹	<p>一般の方が見る冊子であるため、デザインについても一度検討していただきたい。</p> <p>具体的には、事例のページが青一色であったり、文字に対して余白が大きかったりするため、改善して、より見やすくしていただきたい。</p>

事務局	<p>学校向け冊子の既存プログラムについては、掲載する内容などをもとに、事務局で表現やまとめ方についても検討していく。</p>
千頭会長	<p>事務局より、印刷までのスケジュールについて説明していただきたい。</p>
事務局	<p>1月13日までに今日出し尽くせなかった意見をいただき、事務局で検討した後に1月中に委員の皆さまに最終原案を御確認いただきたい。その後、2月上旬には入校し、3月の中旬には成果物が出来上がる予定である。</p>
千頭会長	<p>本協議会で委員から出された意見をまとめて、事務局から各委員へ送付いただき、委員の皆様にはそれをもとに1月13日までに御意見をいただきたい。</p> <p>事務局には本冊子の目的を意識しながら修正していただき、委員の意見が一致しない場合などについては、事務局及び会長・会長代理で決定させていただきたい。</p> <p>以上で、協働取組ガイドライン（仮称）の原案についての議論を終了する。</p>